

市立病院だより



～ PCR検査を増やせとはいうものの… ～ 病院管理者 武富 章

医療崩壊という言葉が最近耳にすることが多くなってきましたね。特別な定義があるわけではありませんし、外国語に訳すこともできない言葉です。一応ここでは、「医療機関が対応できる以上の患者が発生したため、一部の患者が必要な医療が受けられなくなる」と定義しておきます。

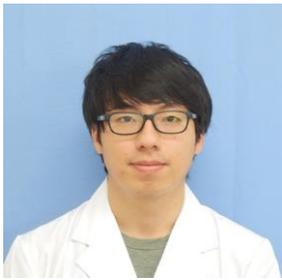
全国で「PCR検査の件数を増やせ」という声が高まってきています。福岡県も検査体制を整備しているところです。私もPCR検査を増やすことに反対するつもりは毛頭ありません。ただし、1つ重要なことに気づいていただきたいのです。現状では、PCR陽性となった方々は無症状であれ軽症であれ、全員が感染症指定病棟に入院する決まりです。入院後に24時間以上空けて行われた2回のPCR検査がともに陰性となれば退院となります。入院期間はおよそ3週間となりますので、通常の細菌性肺炎と比べると長期間の入院が必要となります。感染症専門の病室には限りがありますので、そこが軽症者ばかりで一杯になってしまうと、重症者が入院すべき病床が確保できません。そこで、軽症者は一度ホテル等の施設に移ってもらって、そこでPCR検査を受けてもらうということになっています。ただし、軽症と判断されても急速に呼吸困難となる場合もありますので、PCR陽性者はまず感染症指定病棟に入院することになっています。つまり、隔離解除のためのPCR検査待ちの方々のみホテルに移るのです。

検査件数を増やせば当然「陽性」者は増加します。治療の必要のない人たちを病院以外に隔離することができない現状では、PCR検査の件数をやみくもに増やすのはかえって有害であるとする専門家も多いのです。

手洗い・うがいを励行することが一番です。がんばりましょう。

新入職のご紹介

■ ■ 診療部門 ■ ■



【内科】古賀 正晃 医師

4月からお世話になります。内科医として勤務します、古賀正晃（こがまさあき）と申します。出身は福岡市で、学生時代は剣道をしていました。趣味は映画鑑賞と旅行です。医師としては3年目で、まだまだ至らない点多々あると思いますが、皆様の生活に寄り添えるようなドクターになれるよう、努力してまいります。

分からない事や、気になることがございましたらお気軽にお尋ね下さい。よろしくお願ひします。



【内科】古賀 志歩 医師

本年度から内科医としてお世話になります古賀志歩（こがしほ）と申します。大学を卒業するまでずっと北関東で過ごしていたので、福岡の地はまだまだ不慣れなところがありますが、飯塚市はどことなく地元似ていて、早く慣れれば良いなと思っています。

医師としては若輩者ですが、市民の皆様に寄り添い、健康に生活するためのお手伝いをしていければと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。



【整形外科】野口 貴雄 医師

はじめまして。整形外科の野口貴雄です。

福岡大学整形外科学教室からの医局人事で、今年の4月より飯塚市立病院での勤務となりました。患者さんひとりひとりに寄り添った医療を行っていきたいと考えております。少しでも地域の患者さんの為に役立てるよう努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



【整形外科】浦田 健児 医師

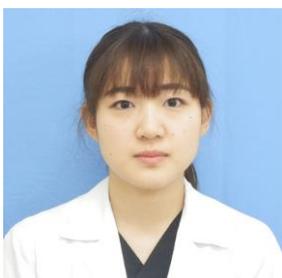
令和2年4月より飯塚市立病院に着任いたしました浦田健児と申します。

長崎市出身で大学を卒業後、福岡市で初期研修、福岡大学整形外科入局後、佐賀県立医療センター好生館を経て飯塚市立病院で勤務させていただきます。新しい土地とのことで期待と不安がございますが地域の皆様にお役に立てる様、精一杯頑張ります。宜しくお願い致します。



【整形外科】深川 遼 医師

福岡大学病院整形外科から参りました、深川遼と申します。医師になり今年で4年目となります。整形外科としては2年目です。出身大学は長崎大学でした。中・高・大と軟式テニス部に所属していました。これまでに培った体力と知識を生かして、がむしゃらにがんばりますのでよろしくお願い致します。少しでも飯塚市の医療に貢献できるようにがんばります。



【整形外科】大串 美紗子 医師

4月から飯塚市立病院に赴任することとなりました、整形外科の大串です。佐賀市出身で、その後は福岡で生活していたため、飯塚の地は初めてとなりますが、少しでも地域のために貢献できればと思っています。

【皮膚科】加藤 美和 医師

はじめまして。4月より皮膚科医として勤務させていただきます加藤美和と申します。患者さんのお話を親身になって伺い、最適で最善の治療をご提供できるよう努めさせていただきます。微力ながら飯塚市の地域医療に貢献出来るよう精進していきたくと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。



■■看護部門■■

【4階看護師】松崎 望

4階病棟に配属になりました。外科病棟で勤務するのは初めてなので一生懸命頑張ります。

【4階看護師】阿部 彩香

患者さんの状態観察をしっかりと行い、一人一人に合った看護が出来る様に頑張ります。

【6階看護師】今村 由衣

安全安楽に配慮した看護ができるように指導看護師さんより助言を頂きながら進んで繰り返し実践ができる様に努力したいです。

又、初心を忘れずに学ぶ姿勢を大切に、頑張りたいと思います。

【6階看護師】高倉 帆香

早く仕事を覚えて患者さんのために精一杯頑張りたいと思います。

【7階看護師】藤井 啓子

毎日が新鮮です。学ぶことがとても多く、看護の厳しさと楽しさを実感しながら、日々過ごしています。毎日の学びをしっかりと身につけていきたいです。

【7階看護師】東筋 彩音

患者さんの思いを傾聴しながら、技術を磨き、立派な看護師になれるよう頑張っていきたいと思います。

【8階看護師】安藤 ひとみ

分からないことばかりで毎日勉強・緊張の日々です。1日でも早く仕事に慣れ、1人前の看護師になれるよう精一杯努力していきます。よろしくお願いいたします。

【8階看護師】津川 直也

初めての病棟勤務なので、わからないことが多いと思いますが、一生懸命に頑張りますので、ご指導よろしくお願いいたします。

【外来】出口 亜依

4月より入職しました出口です。今まで北九州の方の病院で働いていましたが地元飯塚に帰ってきました。2年のブランクはありますが頑張りますのでよろしくお願いいたします。

■■医療技術部門■■

【薬剤師】森 勇樹

4月より薬剤室に配属となりました森です。まだまだ未熟で周りの方にご迷惑をおかけしますが、少しでも早く患者様や職員の方々から必要とされる存在になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

【診療放射線技師】中竹 彰吾

4月から診療放射線技師として働くことになりました。中竹彰吾と申します。早く仕事を覚えて、地域の皆様の信頼に応えられるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

【臨床検査技師】西田 裕美

4月より入職しました臨床検査技師の西田裕美と申します。まだ不慣れな点も多く、戸惑うこともあります。1日でも早く貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

■■事務部門■■

【総務課】用度係長 井上 大助

4月1日付け総務課に配属になりました井上と申します。初めてのことばかりで不慣れな点もあるかと思いますが一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【総務課】総務係 深田 秋則

4月から総務課で勤務しています深田と申します。皆様が平穏に安心して診察を受けられる環境作りを頑張ります。宜しくお願いします。

【総務課】用度係 宮田 翔

4月より入職し、総務課に配属となりました宮田翔と申します。至らない点多いかと思いますが、日々努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

【医事課】田淵 麻衣子

早く戦力になれるよう努力します。宜しくお願いします。



～栄養と睡眠、笑いが免疫力を上げる？～ 栄養管理室 室長 古林 美保

私たちの体は60兆もの細胞で出来ています。そのたくさんある細胞の中で免疫を担当する”免疫細胞”という面々がいます。”免疫”とは身体を健康に保つための自己防衛機能のことです。普段は意識していなくても、私たちの健康を支えてくれる縁の下の力持ちのような存在です。この免疫細胞が、口や鼻から侵入してくる細菌やウイルスなどといった病原体を防いだり、排除したりして”やっつけて”くれる細胞のヒーローなのです。その主なメンバーは、好中球、マクロファージ、キラーT細胞、NK細胞、B細胞など。

ではこの細胞たちは何で生計を立てているのかというと、私たちが食べる「栄養」で生きています。(もちろん他の細胞も栄養で生きてます) しっかり栄養を摂ることが免疫細胞を元気(活性化)にさせることとなります。ご飯に肉や魚、卵、大豆製品に野菜といった、いつもの食事をバランスよくとることです。また免疫力を低下させないためには、細胞の老化(酸化)を防ぐ抗酸化作用のある栄養成分が有効です。代表的な抗酸化食品に緑黄色野菜や緑茶があります。しかし”バランス”だけでなく、好きな物を食べて「楽しい!おいしかった!」と思うことも免疫細胞を元気(活性化)にしてあげられます。

それから免疫細胞はストレスに弱いとされています。睡眠や休息で心や体をいたわり免疫細胞にも休息を与えましょう。「笑う」ことも元気(活性化)になり免疫力UPにつながります。

コロナウイルスで”おうち時間”が増え、ストレスを感じる事もあると思いますが、私たちの体で日々戦ってくれている免疫細胞たちの為にも、自分なりの方法で楽しく過ごしていきましょう。

飯塚市立病院外来担当表

2020年6月1日現在

診療科	受付時間	診察室	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前 8:20-11:30	15	(新患)古賀 志歩	(新患)古賀 正晃	(新患)花野	(新患)園田	(新患)園田	交代で1名
		16	花野	呼吸器内科医師	古賀 志歩			
		17	膠原病内科医師(予約制)	武富	武富	循環器内科医師	出口	
		18	園田	循環器内科医師	膠原病内科医師(予約制)	花野		
		19	古賀 康秀	松尾	血液内科医師	松尾	古賀 康秀	
		20	出口	西嵩		出口	西嵩	
		21	鍵山	鍵山	園田	鍵山	古賀 正晃	
脳神経内科	午前 8:20-11:30	6	高嶋(初診/予約制)	高嶋(再診/予約制)		高嶋(再診/予約制)		
	午後 13:00-15:30	6	高嶋(初診/予約制)					
小児科	午前 8:20-11:30	2	種吉	種吉	種吉		種吉	
	午後 14:30-16:00	2	種吉	種吉	種吉		種吉	
外科	午前 8:20-11:30	8	高木	吉田純	岡部	兒玉	良永	交代で1名
		9	三笠	高木	吉田純	良永	良永	
		10			三好(予約制)			
	午後 13:30-15:30	9				良永(第1,3週 肛門外来)	良永(第2,4週 乳腺外科)	
呼吸器外科	午前 8:20-11:30	10		濱田				
整形外科	午前 8:20-11:00	1	亀川	野口	川崎	亀川	亀川	交代で1名
		2	川崎	浦田	派遣医師(第1,3週 手の外科外来) (第2,4週 肩関節外来)	野口	野口	
		4	浦田	大串	宮崎	浦田	川崎	
		5	吉田拓	吉田拓	深川	大串	深川	
	午後 13:00-14:30	1				派遣医師(第2,4週 脊椎・背髄外来)	派遣医師(第1,3週 脊椎・背髄外来)	
脳神経外科	午後 14:00-15:30	13	派遣医師					
皮膚科	午前 8:20-11:30	3	江崎	江崎	江崎	江崎	江崎	
		4	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	
泌尿器科	午前 8:20-11:30	2				派遣医師		
	午後 13:30-15:30	2		派遣医師		多田(第1,2,3,5週)		
		14:00-15:30	2	派遣医師				
眼科	午前 8:20-11:30	1	山下	山下	山下	山下(第1,3,5週)	山下	
		2	佐藤	佐藤	派遣医師	佐藤		
耳鼻咽喉科	午前 8:20-11:30	2	桑野	桑野	桑野	桑野	桑野	
	午後 13:30-15:30	1		派遣医師		派遣医師	派遣医師	
		2	桑野		桑野		桑野	
小児科	午前 8:20-11:30	1	武富		出口		高嶋	

※医師の予定は、都合により変更があります。(ご不明な点は各科診療窓口へご確認ください。)

※小児科の午後診察は、市の健診や予防接種に出務のため不在の場合がありますので、事前にお電話でお問い合わせ下さい。

※休診日：土曜日午後・日曜日・祝日・12月29日～1月3日(年末・年始のため)

※面会時間につきましては、飯塚市立病院ホームページをご確認ください。

■職員募集

【看護師】雇用形態：正職員または臨時職員

【看護助手・介護福祉士】雇用形態：いずれも正職員

※詳細は、0948-22-2980(内線2427)総務課波多までご連絡ください。

■基本理念

“優しい心、深い知識、確かな技術”をもって、患者様本位のあたたかい医療を提供し、市民の皆様に愛され、親しまれ、信頼される病院をめざします。

■基本方針

- 1.すべてのスタッフによるチームケアおよび医療安全対策をより一層推進する。
- 2.地元医師会および他の医療機関との緊密な連携を保ち、市民が安心して受診できる医療体制づくりを進める。
- 3.救急医療から慢性疾患のフォローアップまで幅広い診療を実践できる体制を整える。
- 4.へき地医療支援病院として、医療過疎に悩む地域への医療支援を行う。
- 5.臨床研修指定病院として、地域医療をめざす医師のために質の高い基礎教育を行う。

 公益社団法人 地域医療振興協会
Japan Association for Development of Community Medicine

飯塚市立病院

〒820-0088 飯塚市弁分633-1

TEL : 0948-22-2980 FAX : 0948-24-3812

HP : <https://iizukacityhp.jp/>

